

事故

無怪論の課が試験

ていたが、実際に試験を
担当したのはこの時が初
めだった。
正常な動作を確認する

きらめく 湊川隧道

神戸市
約600
「湊川隧道」



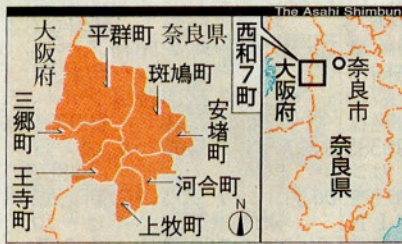
The Asahi Shimbun

奈良西部 和をもって貴し?

7町長、公費で温泉旅

奈良県西部にある7町の町長が、「町長会の名目ではほぼ毎年、公費で親善旅行をしていることがわかった。今年度は2月に1泊2日の日程で、約90万円を北陸を旅行。当初予定していた防災センターの視察を休館日だったため取りやめ、高級旅館で懇親会を開いた。うち2町が、財政破綻した北海道夕張市を対岸の火事」と片づけられない赤字団体。町長らは「大切な議論の場」と主張するが、誤解を招くとして私費で旅行代金を返還した。(筋骨苗)

視察先は「休み」高級旅館に直行 合併失敗・財政難の中



7町は安堵、斑鳩、王寺、上牧、河合、三郷、平群の西和地区の各町。旅行は7町でつくる「王寺周辺広域市町村圏協議会」の主催。今年度事務局の三郷町によると、7町長と同町職員2人の計9人が2月19、20日に旅行した。

当初は福井市の市防災センターを視察後、和倉温泉(石川県七尾市)にある高級旅館に宿泊する予定だったが、計画を立てた後、視察日がセンターの休館日だったため、日程変更は無理だったと釈明する。

「懇親が目的」
同協議会は70年に設立。7町が人口や財政状況に応じて負担金を支出。05年度の運営費は計約700万円だった。設立以来ほぼ毎年1回、

1休館日だったことがわかり、旅館に直行した。参加したある町長によると、旅館で懇談した後、コンパニオン数人を呼んで宴会を開いたという。旅館は雑誌などに「もう一度行きたい旅館」としてたびたび登場する有名旅館で、通常の宿代は1泊2食付きで3万円を超す。

事務局担当者は「7町長の日程を合わせるのに気を取られ、センターの休館日を確認していなかった。直前に気づいたため、日程変更は無理だった」と釈明する。

親善旅行を実施。04年2月は2泊3日で北海道・登別温泉や小樽市などを巡った。06年3月は福岡県を訪れたという。

今年度、協議会長の秋田新平・三郷町長は「民間の優れた旅館サービスを実際に受けることで、行政運営の面で勉強になった。視察より議論と懇親が主な目的。7町は、消防や救急活動などで協力することも多く、腹を割って話すよい機会になっている」と話す。

「今回は返納」
ただ、今年度の北陸旅行は「町民にただの温泉旅行という誤解を与えてしまう」として、7町長らは今月16日、旅費を同協

議会に全額返納した。05年度以前の旅行については「視察も兼ねており、問題ない」としている。

7町は03年、「西和市」の誕生を目指して合併協議会を設立したが、住民の反対などで決裂した。大阪市内までJRや近鉄で30分〜1時間程度という利便性から住宅開発が進み、大阪府へ通勤する「奈良府民」が増えた。世界遺産・法隆寺(斑鳩町)など観光資源も豊富だが、7町の財政状況はいずれも厳しい。

上牧、平群両町は今年度の赤字比率が約10%になる見込み。20%以上になれば、夕張市のように国の管理下に置かれる財政再建団体に転落する。

行く直前に防災センターが休館日だと分かったら、噴飯もの。調査先に事前に趣旨を説明して日程を決めるのが常識だ。近隣の自治体同士なのだから北陸で議論する必要はない。これでは視察や調査は二の次で、遊興が目的だったとしか思えない。

「真つ暗」
JR宝塚線「脱線」
JR宝塚線「脱線」
JR宝塚線「脱線」